



×



2025 年度

加納西スポーツ少年団サッカー部

第 1 回研修会「救急救命」

日 程：2025 年 7 月 5 日(土) 9:00-10:00

場 所：加納西小学校公民館

参 加 者：約 50 人(指導者・保護者含…約 40 人 子ども…約 10 人)

講 師：岐阜南消防署

内 容：講義：育成年代における運動時の危険と救急救命に関する知識

実技：救急救命時の初期対応～目の前で子どもが倒れたらあなたはどのよう行動しますか～

【参加者の感想】

学年	学んだこと、子どもに関わる大人(保護者・指導者)の資質向上のために必要なこと
2 年 保護者	心肺蘇生法、熱中症対策について再確認できた。どのように心肺蘇生をするか、学ぶ必要があったと思った。また、加納西スポーツ少年団としてマニュアルを作成して、救急箱に入れておくとう実際に起こった場合、迷わなくてよいと思う。
2 年 保護者	昔、職場で学んだことがあるのですが、すっかり忘れていました。ふだん使う機会がないため繰り返し練習することが大事だと思いました。団体任せにせず、それぞれの知識を増やすことが大切だと思いました。
3 年 保護者	救命処置を行う場合、まずは自分が落ち着いて周りを見て、協力を求めたり行動するという心を心がけたいと思いました。救命処置が必要な時には複数人で協力して行うことが大切なので、当事者意識を持って動けたらと思います。
2 年 保護者	救命救急が必要な場面に遭遇した時の行動、役割分担、大人(男性、女性)、子供によって AED、胸部圧迫の仕方の違いなど、今までは何となくでしか知らなかった事が改めてよりしっかりと学べました。本日は貴重な講習会を開いていただきありがとうございました。子供の命は大人が守る。その為には知識だけ詰め込むのではなく実践練習をし、誰でも対処できるよう一人一人が万が一の時に備えて身につけておく事が大事だと思いました。
3 年 保護者	正確な知識を持って適切な処置をすることで社会復帰率が 2 倍にもなると知り、自分達の行動が重要だと分かった。安全のため正しい知識をアップデートする姿勢が子どもを守る大人には必要不可欠なものです。
1 年 保護者	手順を覚えて周りの人に働きかけながら協力して助けること、初期の対応がその後の回復に重要、まず一番初めは周囲の安全確認。正しい知識を身につけておくこと、異常時に気付けるように子どもの様子を普段から見ておくこと、声をかけてみる必要があります。
2 年 保護者	一人で救命はできないこと。役割分担や周囲のサポートが必須なので、加納西小スポーツ少年団に関わることも、大人が知識を得たことはとても重要だと思います。スポーツのみでなく、今回の様に子どもたちの安全を守る知識向上、環境整備に努める必要があります。

【担当者より】

お忙しいところ研修会にご参加いただき、ありがとうございました。今回の研修会では岐阜南消防署より消防士の皆さんを招きし、救急救命時の初期対応の実技を中心に実施しました。

スポーツの場面には思いもしない、事故や怪我・持病の悪化・アレルギー発作等、命に関わる場面と遭遇する可能性があります。もしスポーツを共に楽しむ仲間が倒れてしまったとき、仲間を助けることができるのはその場に居合わせた人だけです。知識がないと、焦りや緊張、パニックから適切な行動をとることができません。今回の研修で、必ずしも適切な行動をとれるとは言えませんが、本日の内容をきっかけにして安心安全な環境への意識向上のきっかけにいただければと思います。

競技成績に目が行きがちなスポーツ文化を、誰もが楽しめるものへ変えていけるよう加納西スポーツ少年団サッカー部は目指しています。その一つが安心安全な環境づくりです。今回は加納西スポーツ少年団野球部の保護者・指導者の皆さんも参加していただきました。競技に関わらず、地域の子どもは地域で守るという意識を共有していきたいですね。

【研修会の様子】

